



令和4・5年度鈴鹿市教育研究会 研究委託校研究発表会

本校は令和4年度から鈴鹿市教育研究会の研究委託校として、研究を続けております。本年度は特に教科部会を充実させ、「授業の中でどのような姿が見られたらいいのか」、「どのような場面で、どのような姿を期待するのか」等、各教科の「見方・考え方」を踏まえた具体的な姿を設定し、めざす子どもの姿の実現に向け「わかる授業」「伝える授業」の実践に取り組んできました。また、鈴鹿市の重点取組「授業力UP5★」の視点である「めあて」と「振り返り」の質の向上と協働的な学びにつながる端末活用の実践・授業改善を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、これからの予測困難な社会を生きる生徒に必要な資質・能力を育成することができると考えています。

研究主題

互いに支え合い、ともに高め合い、活動できる生徒の育成



学校教育目標

心豊かでたくましく生きる生徒の育成



【公開授業】

教科	学級	単元・教材名
国語	1年1組	C 読むこと「空中ブランコ乗りのキキ」
社会	2年4組	C 日本の様々な地域 (3)日本の諸地域「関東地方」
数学	2年3組	図形の調べ方「多角形の角」
理科	2年2組	電流と磁界「モーターのしくみ」
保健 体育	3年5組	E 球技「バドミントン」
英語	2年1組	Unit5「Universal Design」



【生徒の振り返りより】

みんなとよく考えることができよかったです。「考えること」は簡単だけれど、「実際につくってみるとうまくいかないこと」が多くて、学ぶことが多かったです。難しかったですが、楽しかったです。



班でプレゼンのポイントを全員が提案した。このポイントを意識して、今後班で活動する時に、全員で協力できるようにしたいです。



私は一種類しか考えることができなかつたので、色々な人の考えを聞いて、他のやり方を知れたのでよかったです。他の人と考えを共有することは楽しかったです。



普段思いつかないことを、友だちと話す中で、思いついていくことができ、うれしかったです。



今日の授業での取組を終えて、ディベートの本番が楽しみになってきました。



全ての課題は「東京に人が集まりすぎている」ことからでてきたものだから、他の地方にも人が住むようにできたらいいと思った。4Aの「地方に分散させる」はいい考えだと思った。

